



広大生のための広報誌



広大生のための広報誌

HU-style

2011
Jul. | vol. 26
広島大学

あの人に会いたい

登山家 栗城史多

特集

広のチャレンジャー

**スタッフ
募集中!!**

本誌に対するご意見や、誌面を盛り上げるアイデアを募集中です！
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jpまで。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>



あの人に会いたい
Interview with Nobukazu Kuriki

栗城史多

登山家

未来は枝分かれしている。自分に枠をつくらず挑戦を!

PROFILE

1982年北海道生まれ。
大学山岳部に入学して2年後の2000年6月、初の海外旅行で北米大陸最高峰の「マッキンリー」(6194m)を単独登頂。
2005年1月、南米最高峰「アコンカグア」(6962m)に単独登頂後、「山は挑戦を求めている」と思い、6大陸最高峰を単独登頂できた。
卒業後2007年からはヒマラヤ8000m峰を目指し3回にわたり、2007年5月、ヒマラヤ初登頂で世界第6位高峰「チョ・オユー」(8201m)の単独・無酸素登頂を果たす。その時からインターネットを通じて動画配信を行い、「冒険の伝説」を目指すようになる。
2008年10月には、世界第8位高峰「マサスル」(8163m)で、日本人として初となる単独・無酸素登頂と、山頂直下からのスキー descent に成功。
2009年5月、世界第7位高峰「ガウラシリ」(8081m)の単独・無酸素登頂に成功し、6000m地点からインターネット中継も行う。
official web site <http://kurikiyama.jp/>

登山を始めたきっかけ

小さい頃から冒険が好きだったわけではなく、山や自然に対する憧れもありませんでした。大学生の時、彼女が登山をしていて、「小柄な女性なのに、なぜ大きく危険な山に登るのだろう」と不思議に思ったのがきっかけで、大学の登山部に入学しました。



僕の登山に対する情熱に火が付いたのは、2004年の北米最高峰マッキンリーへの挑戦でした。当時は大学3年でしたが、海外の山に自分一人の力で登頂したいと考えていました。マッキンリーは、雑誌などでたまたま目にすることが多く、今にして思えば運命の出会いだったのかもしれませんが。入山料が当時のエベレストは120万円だったのに対し、マッキンリーは1万8千円と安く、費用の面でも魅力的でした。周りの人全員に反対されながらも、結果的には単独登頂に成功したのですが、とても危険な山なので、今振り返るとよく行けたなと思います。



登山家としての活動

実は、最初から登山家になろうと、明確に決めていたわけではないのです。ましてや七大陸最高峰登頂・インターネット中継といった目標もありませんでした。最初のマッキンリー登頂から、次の山、次の山へと挑戦を続けるうちに、いつのまにか登山家と呼ばれる

ようになっていました。

2007年に、たまたまあるテレビ局の企画で、登山のインターネット中継を行うことになり、日本全国の方からメールをいただきました。最初は「栗城は登れない」など、あまり良い内容ではなかったのですが、登頂に成功したらその内容が変化したんです。しかも、「おめでとう」とか「これからがんばってください」という応援のメッセージではなく、「ありがとう」とか「自分もがんばります」といったように、僕の挑戦を見て、自分も何かに挑戦してみようという、前向きなコメントでした。登山家・冒険家としての僕の使命は、自分の挑戦を通じて人の気持ちをプラスに変えていくことだと知りました。自分の挑戦が誰かの挑戦の契機になれば、一番うれしいです。



登山スタイルについて

ヒマラヤ登山は通常、ガイドを含めて5、6人で隊列を組み、シェルパに荷物を運んでもらったり、テントを立ててもらったり、食事を作ってもらったりします。僕が挑戦している単独登頂は、ベースキャンプから一人で荷物を担いで登り、そうした作業を全て自分でやり、自分の足で帰ってくるという登山スタイルです。また、無酸素登頂にも挑戦していて、酸素ボンベを使わないと危険な標高7500m以上を、酸素ボンベなしで登ります。僕が単



独・無酸素登頂にこだわるのは、達成することが難しいからです。自分で「これはできる」と思っていることなら、達成できても感動は少ないと思います。困難にあえて挑戦し、それを達成することで成長できるし、その挑戦をインターネットを通じて世界に発信し、冒険を共有してもらいたいと思うからです。

広大生へのメッセージ

今は便利な時代なので、情報をただ単に知るだけならネットでもできます。でもそれでは、知識としては人に話せても、心に訴え掛けることはできない。それができるようになるには、自らの手で経験するしかないんです。

「荒野を目指せ!」ではないけど、誰かが歩いたあとを追い掛けるのは意外に簡単です。誰も歩いたことのない道を行くのは、不安もありますが、すごく自由だし、やりがいがあります。自分のやりたいこと、興味があることに妥協しないでください。未来は枝分かれしていて、最初はささいな興味でも、そこから自分が本当にやりたいことにたどり着けるかもしれない。だからやる前から諦めて、自分で自分の可能性に枠をつくらないでほしい。興味があることには、どんどんチャレンジしていきましょう!



取材を終えて

栗城さんはご自身の思いをとてアツク語られました。その中でも、難しいことにあえて挑戦する、自分で自分の可能性の枠をつくらないという言葉が印象に残っています。これまで僕は、興味があっても難しそうなことは避けがちだったので、これからは自分が少しでも興味を持ったことに、尻込みせずに挑戦してみようと思います!

取材・記事/経済学部2年 神岡 遼

登山のことだけでなく、学生時代のこと、栗城さんの考えなど、たくさんのことを聞くことができました。本やテレビでは伝わらない、生だからこそ感じるものがありました。今回が私にとって初めての取材で、戸惑うこともたくさんありましたが、栗城さんにお会いできて本当に良かったです。

取材/経済学部2年 島川 結



広大のチャレンジ

大学には、いろんなことにチャレンジできる環境があります。広大キャンパスには、課外活動などさまざまな面でチャレンジし、活躍している広大生がいます。夢に挑戦する「実はすごい!? 広大生」を紹介します。

アカペラ TOMBoy

実は
ハモネブに
出演しました

清水麻衣 (教育学部3年)、宮原美由子 (教育学部3年)
百合野愛梨 (教育学部3年)、宮武佳代 (教育学部3年)
岡理沙 (教育学部3年)、八島菜摘 (薬学部3年)

88点中70点は笑顔点!

アカペラの魅力は楽器がなくても声さえあればどこでもできること。私たち6人は、下見のお好み焼屋の店長の勧めで、ハモネブに応募。そして、憧れの決勝リーグに進出しました。予選を通過するのに何回も挑戦するチームがいる中、初めての挑戦で決勝に進めました。ポイントは元気あふれる笑顔。最終予選の点数88点のうち、70点は笑顔点!です。

元気いっぱい、そして仲良しのメンバー6人の夢は、メンバーの結婚式でも、おばあちゃんになっても6人一緒に歌うこと。そして、自分の教え子にアカペラを教えること (メンバー5人が教員志望)! 出会いを大切に、これからも多くの人に6人の歌声を届けます。

名札

実際にハモネブで用意してもらった名札! あだ名や意気込みなどを書き込みました。



ピッチパイプ

歌い始めの音を取るためのもの。低いミ (E) から高いミ (E) まで、半音ずつ音が出ます。アカペラをする人の多くは、Myピッチパイプを持っています!



卓球

荒木基亮 (医学部6年)、荒木亮祐 (薬学部4年)

お互いが良きライバルで、最高のパートナー。

中学校の卓球部顧問をしていた父親の影響で、それぞれ小5・小3で卓球の道へ。お互いが良きライバルとして切磋琢磨し、そして最高のパートナーとして、ずっと卓球を続けてきました。そんな2人は、息の合ったプレイで、昨年第61回中国学生卓球選手権春季大会男子ダブルスで優勝。今後の目標は、インカレや全日本学生選手権で好成績を収めること! 基亮さんにとって学生生活最後の年、悔いの残らないように全力で試合に臨むそうです。



全日本選手権のゼッケン (基亮さん)
初めて出場した全国大会 (大学3年) でもらったゼッケン。

ウイニングボール (亮祐さん)
高校3年の中国地方高校卓球選手権でのウイニングボール。決勝は中国人留学生が相手で、周りの評価を覆して優勝!

番外編 卒業生は今... Part1

今でも常に挑戦者!

NHK広島放送局 キャスター 斉藤 翠さん (2008年教育学部卒業)

アナウンサーになりたいと思ったきっかけは、中学の体育祭で放送委員になったことです。原稿はありましたが、ありきたりの放送は面白くないと、雨の中無我夢中で実況中継に挑戦しました。その時の同級生や後輩たちの生き生きとした表情や喜びの声を伝えるのが楽しくて、それ以来、もったくさんの「生きた声」を伝えたいと思い、ここまでできました。

夢をかなえる秘訣は諦めないこと。大学でいろんな人と出会って、夢と真摯に向き合ったときに「やっぱりアナウンサーになりたい! なるんだ!」という気持ちが強くなりました。夢に描いた職業に就くことはゴールではなく、あくまでスタート。失敗やうまくいかないこともたくさんあります。試行錯誤しながら「次は〇〇を伝えたい」「もっと△△すれば、こうなるかな?」と、常に向上心を忘れないようにしています。

やりたいことが見つかっている人も、模索中の人も、「なりたい自分」を描いて (仕事以外でも)、前向きに大学生活を過ごしてください!



毎週金曜日11:30~
「ひろもり産直市」に
出演中!

HU-style8号の
表紙モデルです!

番外編 先生の青春時代 Part1



努力を続けてチャンスをつかめ!

西谷 元 (社会科学部研究科 教授)

法学部で国際法を教えています。私は、広島大学で修士号を取得しましたが、ニュージーランドのオークランド大学、オランダのアムステルダム大学でも修士を取りました。その際、留学の前後の期間を利用して、バックパッカーをしながら半年でオセアニアからアジア、さらに半年をかけてシベリアから欧州、アラスカなど30カ国以上を訪問しました。自然豊かなニュージーランドで過ごした2週間はいい思い出です。

実は高校時代は英語が不得意で、赤点を取ったこともありましたが、大学に入ってから心機一転英語の勉強をし、現在では英語で授業をしています。ハーバード大とUCバークレー校で、それぞれ1年間のフルブライト交換教授もしました。学生には継続の大切さを常に言い聞かせています。私が英語を生かしてチャンスをつかんだように、関心のある目標に向かって努力し、続けることが大事です。もし、海外留学を希望するなら、皆さんが満足できる成果を出せるよう、全力でバックアップしていきます。



俳句 松本千鶴 (教育学部3年)

実は
学生俳句
チャンピオンです

「俳句=自分」、これからもずっと続けたい。

高校2年の俳句甲子園出場をきっかけに、俳句の道へ。同年代の俳人との交流や、有名な先生との出会いで、俳句への興味を深めていきました。大学に入ると忙しくなり、一時は俳句をやめようと思ったこともありましたが、生活にゆとりが出てきた大学2年の春に再開。今は広大にいる俳句甲子園OBの3人とともに、毎週1回句会を開いたり、さまざまな大会に俳句を応募したりしながら楽しんでいます。これからも自分が感じた思いを俳句で伝えていきたいです!

句帳

作った俳句を書きためておくためのノート。携帯電話のメモに残しておいた俳句を句帳に書き写して、俳句の形を整えます。



歳時記

季節ごとの季語が解説と句例と共に載っている本。俳句を初めてから6年間使い続けています。尊敬する俳句の先生にももらったサインや俳句が、いろんなページに書かれています。



自動車 古田公保 (工学部3年)

実は
学生レーサー
主将です

さらに高い速さの次元へ

クルマに興味を持ったのは高校生の時。大学受験の息抜きにと、父親からカートレースに誘われたのがきっかけです。当時は、1~2カ月に1度は走りに行っていました。競技の際に心掛けていることは、一度走りだしたら「無心に、前だけ見る」ですね。気になっても、後ろは振り返りません。後は、本番でも普段どおりを心掛けること。今の目標は、個人としても、部としても成績を残すことです。個人としては、去年の中四国ダート個人6位、今年の中四国ジムカーナが個人2位でした。目標は全国大会での団体優勝と総合杯の獲得! がんばります!



2010年度中四国学生ジムカーナ選手権大会にて



トヨタ・AE86トレノ (通称ハチロク)

漫画「頭文字D」の影響で好きになって、大学入学後に手に入れた愛車です。時折、おちゃめな故障をしてくれます (笑)。



番外編 職員の青春時代

私たちが
学生のころは...

17年ぶりの全国大会で! 勝!



職員福利グループ 職員
中島健志 (2005年法学部卒業)

広島大学硬式野球部・3番サードとして2002年秋季リーグ戦、中四国決定戦を制し、17年ぶりに全国大会へ出場、初の全国1勝を勝ち取りました。勝負の結果は実力のみならず、時の運にも左右されます。同じ目標を持った仲間と一緒に厳しく、楽しく、充実した大学生活を送ってください。

「環境」に挑戦した日々。



国際センター 研究員
小倉亜紗美
(2009年生物園科学研究科博士課程後期修了)

20歳の時、「環境の事を分かりやすく伝えられる人になりたい!」と思って、総合科学部に編入学し、環境と名の付くことは学内外問わず何でも挑戦しました。今は国際センターに勤務し、環境と国際交流をコラボしようと奮闘中です。自分で自分の枠を決めずに、いろんな事に挑戦してください!!



ご当地アイドル!? MMJ
泉田夏美 (歯学部3年)

実は
歌って踊れる
歯学部生です

目指せ! 歌って踊れる姫系歯科衛生士!

MMJを始めたきっかけは、2010フラワーフェスティバルに出場しようと友人に誘われたこと。本番までの短い練習期間は慌ただしかったけれど、実際にステージに立ったときは、世界が変わったように楽しかったです。目標にしているアイドルはAKB48の小嶋陽菜!

普段は、MMJの活動以外にも勉強やアルバイトや遊びなど、普通の大学生と同じように楽しむことが、モチベーションの維持につながりますね。睡眠時間1時間のショートスリーパー「眠らぬ海の女帝なち姫」と呼ばれることも。キャンパスで見掛けたときは、声を掛けてもらえるとうれしいです。今の目標は、次のフラワーフェスティバルで一番大きなステージに立つことです。

ファンからのプレゼント
ファンの方からいただいたファンレターや寄せ書き、そして活動中の姿を写したアルバムなど。どれも大事な宝物です。



番外編 先生の青春時代 Part2



登山に打ち込んだ大学時代
内野 修司 (保健管理センター 准教授)

普段は保健管理センターで、学生のカウンセリング相談をしています。大学に入って打ち込んだのは、ワンダーフォーゲル。大学から本格的に始めた登山ですが、厳しいトレーニングを重ね、ひたすら山に登る日々でした。大学3年では部長を務め、リーダーとしての責任を果たすことで、自分に自信ができました。大学在学中に登った多くの山の中で、一番印象に残っているのは、屋久島の宮之浦岳 (標高1936m)。頂上に到達し、海と空の境目が分からなくなるくらいに晴れ渡った青空を見た時は、心から感動しました。当時のワンダーフォーゲル仲間とは、今でも定期的に集まって互いに刺激合っています。

今でも、仕事の合間をぬって登山を続けています。趣味を持つことは、ストレスをためない工夫。僕は大学時代真剣に部活に打ち込むことで、一生の仲間や趣味を得ました。皆さんも大学時代に、良い仲間・良い思い出をつくってください。



番外編 卒業生は今... Part2

作品「工場」で新潮新人賞を受賞
作家・主婦 小山田浩子さん (2006年文学部卒業)

卒業して就職し、何度か転職しましたが、そのたびに、自分と仕事とがしっくりいっていないような気がして、不安になることがありました。自分と社会が関わる接点を、仕事以外で何か見つけたいと思って小説を書き始めました。

モチベーション維持に役立っているものは料理です。忙しかつたり疲れたりしていても、台所に立ち料理をすることで、逆に元気になったり、落ち着いたりします。それとは反対に、自分では作れないものを食べに行くことも元気になります。

まだ夢をかなえた……とは思っていません。夢も目標もたくさんあります。ただ、もし読んでいる方の中に小説家になりたい方がおられるとしたら、たくさんの作品を読むこと、自分の書いたものを直視・再読・推敲することが大切ではないかと思っています。



2作目
『いこほれのむし』が
2011年5月号に掲載



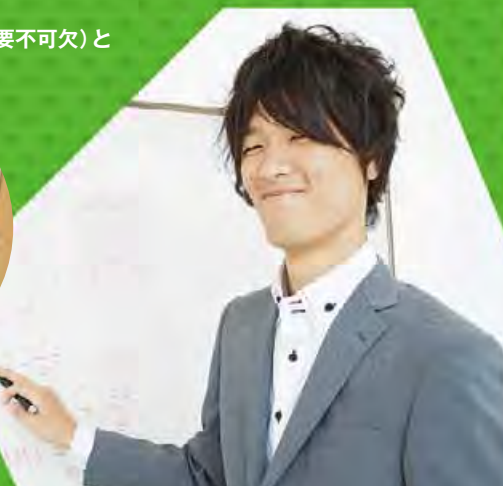
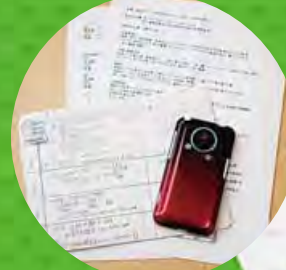
実は
学生起業家
です

広島大学入試問題研究所 (広大研)
入江 智史 (総合科学部4年)

夢は、計画を立て、紙に書くことで実現する。

勉強したくても十分な環境が整っていない子どもたちに、チャンスを与える場をつくりたい! 広大受験を目指す高校生のための塾「広大研」を起業したのは、起業する父親の姿を見ていたから。「夢」は、それを達成するための計画を立て、そして紙に書くことによって実現されます。僕は高校受験の時に、自分でも受験計画書をつくっていました。今も「人生計画書」を持ち歩いています。今後は、ファイナンシャルプランナーとして、新たな学生起業家のプロデュースにも取り組みながら、広大研のさらなる発展を目指します!

携帯電話 (仕事をする上で必要不可欠) と
受験計画書、人生計画書



番外編 卒業生は今... Part4

自分に覚悟をくれたのは仲間
J2リーグ FC岐阜所属 村上一樹さん (2010年工学部卒業)

小さい時からサッカーが好きで、サッカー選手になりたいという夢を持って広島大学に入学しました。夢は、それだけで僕に努力をさせてくれます。努力のプロセスは自信になり、苦しいときも自分を支えてくれます。でも、あまりにもその夢が大きすぎると、不安になることもあります。そんなとき、僕に力を与えるのは、仲間の存在です。プロへの挑戦と大学院進学で迷っていた僕に覚悟をくれたのは、がんばっている仲間になんか負けないという気持ちでした。カッコいいことを言い過ぎかもしれませんが、大学では本当にそんな仲間ができました。

目標に向かってチャレンジするために必要なのは、今の自分を客観的に見て、課題を一つ一つクリアしていくこと。手分は無数にあり、それが自分に合うかどうかは、やってみてから分かることです。自分に合った方法を見つけるのは、気が遠くなるほど大変ですが、今を大切に精いっぱいやるということが一つの秘訣かもしれません。



実は
トライアスロン
を極めてます

トライアスロン
小林 歩 (教育学部4年)

がんばるうちに人の輪が広がる。

高校の駅伝大会の時、同じ区間を走っていた選手がトライアスロンをしていたことが、トライアスロンとの出会いでした。新たなことにチャレンジするために始めたトライアスロン。とにかく楽しむことをモットーに、誰にも負けない努力を続けてきました。昨年は世界デュアスロン選手権大会にも出場し、世界のレベルの高さを実感しました。がんばっているうちに人の輪が広がる……。今年は、昨年世界大会のために行けなかった教育実習に行きます。たくさんの人とのつながりを大切に、憧れの小学校教師を目指します!



部活の仲間からもらった旗
「世界のヨバヤシ」という言葉と、大好きな仲間からのメッセージ。世界大会を思い出します。



ゼミの友人からもらった
メッセージ

番外編 卒業生は今... Part3

まだ越えていない壁への挑戦!
V・プレミアリーグ 岡山シーガルズ所属
野口彩佳さん (2010年教育学部卒業)

Vリーグを意識したのは、大学3年の時、ユニバーシアードに選ばれ、東アジア選手権で金メダルを取った時期です。日本の大学トップレベルの選手と共にバレーボールをすることで、意識が高まり、もっとバレーボールを追求したくなりました。自分自身がまだ越えていない壁への挑戦です。

やる気の元は写真ですね。もともと写真を撮るのが好きで、高校3年の時、団体優勝したチームの集合写真はお気に入りです。一生の仲間と最高の笑顔で撮った一枚は、今でもパワーをくれます。バレーボールを通して出会った仲間の写真は、コルクボードに貼っています。私はすごく人に恵まれ、支えられていると思います。夢をかなえるには、挑戦する心と自分の長所を生かすことが大事だと思います。これだけは負けない! というセールスポイントを武器に、目標に向かってがんばってください。



剣道
土井 夢香 (教育学部3年)

全国制覇への熱い気持ちは
誰にも負けません!

兄と姉の影響で、小学1年生の時に剣道を始めて以来、ずっと今まで剣道一筋! 精神力が鍵をにぎる剣道は、いつも強い人が勝つとは限りません。そこが剣道の面白さです。昨年は、全国大会への出場を果たしました。「とにかく自分のできることをやるだけだ」と、プレッシャーを感じることなく挑んだ結果、ベスト8という好成績を残しました。しかし夢は全国制覇! まだまだこれからがんばります。



お守り
高校時代、試合のたびに部活仲間や後輩たちが作ってくれたお守りは、今でも試合の必須アイテムです!

実は
全国制覇を狙う
剣道女子



学生取材班が行く

はよりのネタや時事問題、ちょっと気になる先生など、
あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



教養教育の新カリキュラムが開始

平成23年度から、教養教育が新しくなりました。平和科目の必修化をはじめ、TOEIC600点相当の英語力を身に付けるためのウェブを利用した自分一人で勉強できる英語科目の開設、アラビア語の開設などです。情報科目も近年の情報に関する事件や倫理上の問題などに対応し、最新の内容に改訂しました。また、パッケージ

別科目は、区分が9つから5つに再編され、内容も精選されました。

専門教育に比べて、教養教育は学習する意義が分かりにくく、意欲的に取り組めないという意見も多いと思います。そこで、広島大学教養教育本部副本部長の於保幸正教授（総合科学研究科）にお話を伺いました。

「いろんな人とコミュニケーションを取って、自分の意見をきちんと言える学生を育てることが教養教育の狙いです。専門教育の初歩だけでなく、学問について幅広く学ぶことで、物事を多角的に捉え、批判的思考で自ら考え、判断する態度が養われます。この理解を促すために、入学後の教養教育ガイダンスには力を入れています。学生の意見を取り入れたパワーポイント資料も作っています」

自分が学生の時も、教養の授業には意欲的に取り組めなかったと苦笑いを浮かべる於保先生は、授業を行う立場となった今、学生がもっと授業に参加できるよう工夫を凝らしています。学生の近くに行って話したり、質問を紙に書いてもらったりと、学生が参加しやすい授業を心掛けているそうです。

「新しい物事や考え方を吸収し、自分で考えることは、社会に出て必要不可欠です。新カリキュラムでは履修単位など多くの点が変わっていますので、新入生の皆さんは、先輩たちの話をうのみにせず、批判的思考で自ら考え、判断してください」

自分で考える力を身に付けるためにも、授業には意欲的に参加すべきだと思います。



取材・記事/総合科学部2年 藤原 美貴

東日本大震災復興支援 ボランティア報告

こんにちは。HU-style学生スタッフの武林賢朋です。4月26日から30日まで、宮城県七ヶ浜町で震災復興支援のボランティアに参加しました。11歳まで宮城県で過ごした僕にとって、故郷が被災地としてテレビ報道されるのは、他人事ではありませんでした。「故郷は、今どうなっているのか？」大学生協主催のボランティアに参加し



実際の光景はテレビの映像以上

て、現地で感じたことをレポートします。初日、バスから見る風景は、想像を超えるものでした。比較的被害の少ない仙台市内から、瓦礫で埋まる沿岸部の七ヶ浜まで、車で1時間弱。その差に愕然としました。主な活動は、家屋の泥出しや、支援物資の仕分け・配給、ニーズの聞き込みなどです。住宅を一軒一軒訪ねての調査で、ぼつりぼつりと本音を話してくださる被災者の方たち。中には「うちは大丈夫だ。何も困っていないで申し訳ない」と言ってくれる方もいました。そんな時は「何も無いのが一番です。良かったです」と答え、被災者の方が萎縮しないように気を付けました。一日が終わると、メンバー全員でミーティングを行い、翌日以降の改善につなげていきます。

大学生協ボランティアは、メンバーを入れ替えながら継続して行っています。5日間のボランティアで分かったのは「一人にできることは限られるので、それをつないでいくことが大事」ということ。支援が振り出しに戻ることはないように、自分たちの知り得たことをできる限り後任のボランティアに伝え、宮城を後にしました。



人々の心の復興には一人一人のペースがあり、それは長い時間を要するものです。西日本に暮らしている僕たちは、「がんばろう」と単にせかすのではなく、長い目で見守り続け、必要とされるときに必要な支援していきたいと思います。

取材・記事/法学部3年 武林 賢朋

笑顔
を忘
れず
に、
故郷
で
ペ
ット
を
つ
く
す！

Knock on the door

生命の起源を求め、 極地や深海などを調査

生物圏科学研究科 長沼研究室訪問

生命から地球の起源に迫る

「深海魚は、なぜ深海に生息するようになったのか」長沼先生は、授業では、生物を切り口に海洋を学ぶ海洋生物学を教えています。研究は、フィールドワークを通じて、深海など極限環境の生物の特徴を調査することが中心です。

「シーラカンスなど、生物進化の生きた化石のような生物に出くわすこともあります」と、研究の魅力について、目を輝かせながら話す姿が印象的です。専門は生物学ですが、関心は生命学にも広がっており、生命を考えることで、地球、果ては宇宙の起源まで迫ろうと世界各国を訪れています。

アルバイトに明け暮れた大学生活

「理屈っぽい学生だった」と昔を振り返る先生は、子どものころから生物学が大好きで、筑波大学の生物学類に進学したものの、「自分の興味とは少し違う」と感じていたそうです。新聞配達や喫茶店のアルバイトに励み、小学校から高校まで続けた柔道の経験を生かして相撲部で汗を流すかたわら、毎日のように古本屋に通い、哲学の本ばかり読む学生だったといいます。

学び舎は世界のフィールド

この春、南極から帰ってすぐ、生物生産学部の練習船「豊潮丸」で、約2週間、瀬戸内海を調査しました。一度調査に出掛けるとしばらくは戻れないため、学生とはメールでのやりとりを密にして、研究指導をしているそうです。「調査は、肉体的には大変ですが、そこから得られる知的好奇心は何にも変えがたいですね」と話します。

極地や深海など、人間にとって過酷な環境に身を置くことが多いものの、大変な仕事と思ったことは一度もないそうです。

愛用品はフィールドで使うスキttl

先生の研究室を案内してもらいました。研究室にあるこだわりの物はスキttl。ウイスキーボトルやヒップフラスコの別名でも呼ばれる、携帯用の水筒です。中に現地の酒を入れ、フィールドワークの際には必ず持参しています。一息つきたい時にポケットから取り出して飲むのが、至福のひとつときといいます。

また研究室には、ダンボール箱が所狭しと積まれていて、フィールドワークでお世話になったという宮城県の方へ送る、東日本大震災の支援物資が集められていました。

学生の芽を伸ばしたい

先日、資料を整理していたら、14歳のころのノートが偶然出てきたそうです。「読み返してみると、授業と無関係のことを興味の赴くまま書きこんでいた中学時代を思い出し、学生の芽を伸ばすことが重要だと、あらためて思いました」

普段から自主性を尊重する指導スタイルを貫き、来る者は拒まずという先生は、「やる気のある学生の背中を押してあげたい」と語ります。

取材・記事/総合科学研究科D1年 河内 良彰

PROFILE

長 沼 毅

生物圏科学研究科
准教授



筑波大学大学院生物科学研究科博士課程修了。海洋科学技術センター研究員、米国カリフォルニア大学サンタバーバラ校客員研究員を経て、1994年本学生物圏科学研究科助教授に就任。2007年から現職。専門は生物海洋学・微生物生態学。砂漠、南極、火山などの極限環境に生息する生物を探し、世界を駆けまわる研究生を送る。博士（理学）。



フィールド調査
(サハラ砂漠にて)



顕微鏡で微生物を観察



キャンパスで採取した
酸化鉄。
鉄と生命の関係にも
注目。



愛用のスキttl





尾崎 孝志 Takashi Ozaki

日東電工株式会社 全社技術部門研究開発本部
(2007年3月 工学研究科修了)

あきらめず、常に考える

—この仕事を選んだきっかけは？

修士1年生の時の会社説明会が、日東電工との出会いです。実は当時、名前すら知らない会社でしたが、「さまざまな分野でトップを目指す」という会社の経営戦略に魅力を感じました。日東電工は、主に粘着テープや光学フィルムを取り扱うメーカーですが、スマートフォンや小型の携帯音楽プレーヤーなどに使われているエレクトロニクス材料や、海水を真水にする逆浸透膜など、非常に幅広い製品を開発しています。開発分野に多くの選択肢が与えられているところも、開発職を目指す自分にとって魅力でした。

—現在の仕事について

プロジェクトの内容は詳しく話せませんが、環境に配慮した技術開発に取り組んでいます。プロジェクトメンバーは、部長クラスから若手までさまざまですが、職場の雰囲気は非常にアットホームですね。日東電工は世界各地に事業拠点があり、時にはヨーロッパの現地法人と連絡を取り



合ったり、テレビ会議でアメリカの社内打ち合わせに参加し、英語でプレゼンを行ったりもします。

社会人になっても日々勉強で、専門分野以外の勉強も必要です。空いた時間があれば英語の聞き取りをしています。土日は、友人とゴルフに行ったり、時には富士山に登ったりと積極的に外で過ごすことが多いですね。

—この仕事にどんなやりがいを感じますか？

研究開発では、ミーティングでお互いにデータを出し合っ

てオープンに議論します。ミーティングは回数も多く大変ですが、実験で思いどおりの結果が出て、それが評価されたときには「続けてきて良かった!」と実感します。たとえ実験がうまくいかなくても、結果を幅広い視点から見直し、アプローチを柔軟に検証していくことが大切です。今後の目標は、今のプロジェクトで結果を出すことと、自ら提案して主体的に仕事を進めることです。



—大学では、どんな学生でしたか？

学生時代は、BOMBERSというソフトボールサークルに所属していました。キャプテンとしてチームをまとめ、盛り上げていった経験が、仕事でも生きています。野球も仕事も一人ではできません。周囲のサポートが必要です。チームづくりで培った協調性を、今でも大切にしています。

—後輩へのメッセージを!

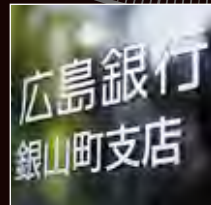
今思うと、学生時代には多くの時間がありました。なぜ、もっと時間を有効に使わなかったのだろうと後悔しています。皆さんは、貴重な時間を無駄にせず、自分が興味を持ったことは、最後までとことんやり通してください。もしうまくいかなくても、うまくいかないという一言で終わらず、どうすればできるのか、自分なりにアプローチしていく姿勢を大切にしてほしいですね。

社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。
仕事のことから学生時代に身にかけておくべきことは、はたまたメンターの話を聞いて、
私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

羅針盤

compass

OB&OG紹介



—現在の仕事を選んだきっかけは？

以前からお金の流れに興味があって、「お金を増やしたい」と思っていました。また大学の先生の話にも影響を受けましたね。商法の授業で、株や金融の仕組みを勉強して、資産運用に興味を持ちました。就職活動は金融業界をメインにしていたのですが、その中で銀行を選んだのは資金の決済機能や融資があり、個人のお客さまや法人のお客さまがいて、「業務が幅広いな」と思ったからです。就職難の時期で、就職活動では苦労もありましたが、念願の銀行に就職できて良かったです。

—どんな仕事ですか？

マネーコンサルティングといって、個人のお客さまの資産運用に関する相談を行っています。お客さまの大事な財産を扱うということもあり、自分の言動の一つ一つに責任が伴う仕事なので、とてもやりがいがあります。お金を扱う銀行は「厳しい業界」というイメージを持つ方もいると思いますが、みんなで助け合って仕事に取り組んでいて、明るい雰囲気の職場です。



—日々の仕事の中で感じることは？

民間の会社なので、毎月目標が掲げられます。難しい目標ですが、やりがいや達成感があります。がんばったらその分、成果が数字に出ますし、お客さまに「相談しやすいね」とか「ありがとう」と言われると、うれしいです。でもスランプもあって、お客さまとうまくコミュニケーションが取れなかったり、成果が得られず目標と実績が離れてしまったときは、「つらいな」と思うこともありますね。

—大切にしていることは？

仕事とプライベートのバランスを大切にしています。銀行業務の特質上、仕事を家に持ち帰れないので、仕事のない日は家でゆっくり過ごし気分転換しています。でも朝は日経新聞を読んで、日本や海外のお金の動きを確認しています。銀行業務には欠かせません。

一番大切にしているのはやめないこと。目標が達成できないときは、落ち込むこともありますが、厳しい就職活動を



乗り越えてきたので、今楽しいと思えるこの職場で一生懸命にがんばっていききたいと思いますね。

—広大生へメッセージを

私が「この会社楽しい」と思えるのは、就職活動に本気で取り組み、納得できるまでやったからだと思います。今は特に厳しい世の中だと思いますが、就職活動には納得できるまで取り組んでほしいと思います。また在学中には、学生以外の大人のの人とも関わるように心掛けてください。私もアルバイトなどのさまざまな場で、自分の知らないことを学びました。たくさんの人と関わることで、視野を広げていってください。そして、チャレンジすることも怠らないでください。資格を取ったり、さまざまな活動に参加したり、後悔のない大学生活を送ってください。



森下 真衣 Mai Morishita

広島銀行 銀山町支店 マネーコンサルティングデスク
(2007年3月 法学部卒業)
やりがいはお客さまの「ありがとう」

取材を終えて



取材の合間、「フレッシュな笑顔を大切に」と言われた尾崎さん。私たちと同じ20代ということで、学生時代の話や就職活動の話で盛り上がることもあれば、仕事に対する目標を熱く語る場面もあり、あらためて学生と社会人の意識の違いを実感しました。尾崎さんの言葉を胸に、残りの大学生活はいろんなことにチャレンジしていきたいと思いました。

取材・記事/教育学部2年 阿部 翠



目標に向かって日々努力を続ける森下さん。社会人には責任が伴うことや、チャレンジを怠らないことを教えていただきました。自分もこの4年間の学生生活の中で、多くのことにチャレンジし、その経験の全てを自分の糧にしていきたいと思いました。

取材・記事/経済学部1年 宮地 由宇人



夢はテレビプロデューサー —留学でいろんなことを経験したい—

金 智炫 Kim Jihyun
教育学部1年(韓国出身)

韓国で最も暑い都市、大邱(テグ)

こんにちは、私は韓国の大邱市から来た、金智炫(キム・ジヒョン)といいます。大邱市は韓国で3番目に大きい都市で、広島市と姉妹都市を結んでいます。大邱市は韓国南部の内陸盆地に位置するため、韓国で一番暑い都市といわれています。夏にはいろいろなイベントがあり、今年の8月には、世界陸上2011が開催されます。



キュンボク大学のキャンパス

プロフィール

韓国の大邱市出身。国立キュンボク大学に在籍。2010年9月からHUSA*プログラムを利用して広島大学へ。テレビ番組のシットコム(sitcom:シチュエーション・コメディ)が大好きで、将来はテレビプロデューサーになるのが夢。いろんなことを経験し、人生の喜怒哀楽を盛り込んだシットコムを作って、みんなに感動を届けたいと思っている。

*HUSA…広島大学の短期交換留学プログラム
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/husa_program/

また、大邱は辛い食べ物がおいしいことでも有名で、辛いものが好きな人たちにはお薦めです。私のいた国立キュンボク大学は、大邱市内にあります。広島大学と交換留学プログラムがあるので、韓国に興味のある方は、ぜひ国立キュンボク大学に来てください!

留学のきっかけは日本人の友達との出会い

私は以前、英語を勉強するため、ニュージーランドに6カ月間留学していました。その時出会った日本人の友達の影響で、日本語と日本の文化に興味を持つようになりました。日本への留学を考えたのは、人生に何か変化が必要だと考えたからです。交換留学のプログラムを探し、HUSAを利用して広島大学に留学することを決めました。何回か日本を旅行したことがあり、一度、日本で暮らしてみたいと思っていたのと、日本と韓国が近いことも日本を選んだ理由でした。



去年の10月、酒祭りでいろいろなお酒の工場を見学しました。HUSAの学生たちと日本人の友達、みんなとともに!



ソウルの夜景。韓国ではいろんな店が遅くまで開いていて、夜遅くまで働いた後に、遊びに出掛けます。

徐々に変わった日本の印象

去年の9月から、広島大学で勉強していますが、最初は、見知らぬ土地で友達もいなかったの、日本の印象はあまり良くありませんでした。日本語も未熟だったし、控え目な性格のせいもあり、新しい友達と親しくなるのは難しく、日本語の上達が必要だと思いました。でも、HUSAの歓迎会や友達の誕生日パーティーなど、いろいろな行事を通じて友達と仲良くなったので、徐々に不安な気持ちもなくなりました。私は良い友達に出会えて、本当に運が良かったと思います。おかげで、今は勉強や遊びが楽しくて、性格も積極的になりました。

日本の人は、私が大変な時には、みんなで手伝ってくれます。以前、急いで提出する書類を作っていた時、辞書で調べても分からない漢字があり困っていたら、カフェの店員さんが教えてくれて、時間までに

体感地球 わたしの世界見聞録

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生&“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。
「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」…
留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



理解に至るためには 異文化につかってみること —世界に家族を増やしていく—

蛸原 由貴 Yuki Ebihara
総合科学部3年

世界各国の青年と共同生活

内閣府「世界青年の船」事業に参加した理由は、費用が安かったことと、13カ国の青年が、同じ船の上で一カ月以上共同生活することに興味があったからです。どんな国に留学しても、こんな貴重な機会はないのではと考えました。船の中では、何か問題が起これば全員で解決しなければなりません。途中でやめることはできないので、人任せにできません。問題や衝突が起きたとき、背景の異なる青年たちと、どのようにして分かり合えるのかに興味がありました。また対話を通じて、お互いを高め合えると思いました。

芸は身を助ける

船上では、高校生活のように、朝礼、コースディスカッション、委員会、レクリエーション、各国ごと



日本人が半分、外国人が半分、約250人の参加者。

プロフィール

内閣府「世界青年の船」事業に参加し、2011年1月21日に横浜港を出港。41日間かけて、世界各国の青年と共同生活をしながら航海し、ソロモン諸島、フィジー、オーストラリア、バヌアツなどの国を訪問。参加した13カ国の青年が話さまざまな言語に触れながら、国境を越えた理解を深める。将来は人と人との交流をサポートする仕事に就きたいと思っている。

【使用言語】主に日本語と英語
【費用】渡航費約22万円

に行うプレゼンテーション、グループ活動などがあり、体を動かしたり、楽器を演奏したり、歌を歌ったり、絵を描いたりして、見て・聞いて・感じて・触れて・考える交流ができました。スポーツや楽器など何でもいいので、一つ特技があれば、自分を表現するのに役立ちます。

私は着物や浴衣の着付けができたので、外国の青年に着せてあげると、とても喜ばれました。

インフルエンザと船酔いとの戦い

意外にも船上は大変乾燥しているため、インフルエンザには特に注意が必要です。インフルエンザらしき症状が出た参加者は、すぐさま個室に移され、約一週間部屋から出ることは許されません。また船酔いする人もいました。幸い私は大丈

夫でしたが、体調管理は重要だと思いました。

バヌアツで出会った少年に言われた言葉

船での生活は、現実世界から離れて、いろんなことを客観的に考えることができる環境でした。船のデッキで一人将来のことなどを考えていたら、現地で乗船していたバヌアツの少年が「悩んだときはポジティブに考えなよ。決めるのはどんなときだって君なんだから」と言ってくれました。結論を出すのも、選んだ道を歩むのも私自身。全ては自分次第であることに気付かされ、自分の選択に自信を持って進み続けようという気持ちになりました。

第であることに気付かされ、自分の選択に自信を持って進み続けようという気持ちになりました。

出合いを理解に

今まで、友人や知人とあまり深い付き合いをしてこなかった私は、今回、外国の青年だけでなく同年代の日本人との共同生活を通して、自己に対する理解が深まりました。そして、国境を越えた人の温かさ、心の支えとなる人がいることの尊さを実感しました。

旅を終えて強く思うのは、「出会い」から一歩踏み出して「理解」に至るには、同じ釜の飯を食べて、異文化にどっぷりつかる必要がある



Dグループ21人のうち11人が日本人、10人が各国それぞれから参加した外国人青年で構成されます。

提出できたことがありました。日本人の親切さに感動しました。

広大生の皆さんへ

外国で勉強しようかどうか迷っている人には、勇気を出して留学することを推薦したいです。最初は確かに寂しくて大変です。しかし、私みたいにこれを乗り越えたら、たくさん大切なことが経験できると思います。留学には、勉強だけではなく、それ以上の意味が絶対にあります。皆さんも広島大学の交換留学プログラムを利用して、いろんな経験をしてほしいと思います! (原文/日本語)

印象的なエピソード

日本に来て一番びっくりしたことは、日本人は当たり前のように、食堂に行って一人で食事をしていることです。韓国では、一人で食堂に行って食事するのは、とても珍しく、不自然なことだと思われています。私自身も一人でカフェに行くのは普通なのですが、一人で食事をするのはちょっと恥ずかしい感じがします。日本の生活に慣れるため、一度、一人で食堂に行って食事してみようと思ったこともありましたが、やっぱりそれは私には抵抗があったので、結局できませんでした。



韓国では、あまり自転車に乗らないので、私にとって新しい経験でした。

ということです。どんな政策や条約より、ホームステイなどを通じて、世界中に家族を増やしていくことが、世界を平和にする確実な方法だと信じさせてくれた、私にとって一生ものの貴重な旅でした。



大変貴重で思い出深い、出会いの機会でした。(フィジーにて)

印象的なエピソード

食事は毎食バイキングでした。私たち日本人にとっては豪華でぜいたくでしたが、外国の青年はそうは思っていなかったようです。調理人が日本人だったので、日本人好みの味になってしまうのだそうです。期間中、日本人はどんどん太っていくのに、外国人はどんどん痩せていってしまうのです。ある日、バーレーンの友人がエビフライだけお皿いっぱい食べているのを見て、あぜんとしてしまいました。食文化の違いと食の大切さを実感しました。



キャビンメイトとの食事の様子



今年4月に、ボランティア情報室がオープンし、ますます活性化している広大のボランティア活動。ボランティア団体合同説明会で出会ったボランティア団体の中から、3団体を紹介します。

児童文化研究会 (こどもクラブ)

私たちの研究会では、小学校や児童館を訪問して、自分たちで考えたゲームや紙芝居を使って子どもたちと交流しています。普段は、オリジナルゲームの創作や、紙芝居の準備などを行っています。自分たちが作ったもので喜んでくれたときには、とてもやりがいを感じます。このサークルの活動を通して、少しでも多くの子どもたちが楽しんでくれたらいいなと思っています。

【活動人数】7人 (男子3人、女子4人)

【連絡先】田中健太さん (教育学部2年)

メール…triple-meening-with-lesser@ezweb.ne.jp

ブログ…http://codomo-club.seesaa.net/



インタビューに応じてくれた
守田智裕さん (教育学部2年)



活動の様子

広島大学環境サークル えこ・ページ

えこ・ページの一番大きな活動は、広大の卒業生が提供してくれた「まだ使える家具」を新入生へ安く売るリユース市の企画・運営です。その他にも、大学や地域でのゴミ拾い活動の企画、また学祭でのゴミ分別活動や、子どもたちとの自然体験活動を行っています。身近な環境問題の解決・改善に向けて取り組みながら、少しでも多くの方が「エコ」に興味を持ってくれたらうれしいです。

【活動人数】15人

(男子5人、女子10人)

【連絡先】徳満里沙さん (文学部3年)

メール…hirodai.ecopage@gmail.com

HP…http://eco-page.weebly.com/

インタビューに応じてくれた、徳満里沙さん (文学部3年) 右と、山本航平さん (工学部3年) 左



活動の様子

広島大学献血推進隊

私たちは、定期的にキャンパスにやって来る日本赤十字社の献血バスなどで、献血を呼び掛けています。献血と聞くと、痛い時間とかかるし……とためらう人も多いかと思いますが、そんな人にちょっとだけ勇気を出してもらい、一人でも多くの人に献血してもらいたい!という思いで活動しています。いまだ突破したことのない献血者数1日3ヶ所を目指していきたいです。

【活動人数】10人 (男子2人、女子8人)

【連絡先】竹安美彩さん (歯学部3年)

メール…b096717@hiroshima-u.ac.jp

ブログ…http://ameblo.jp/hu-kenketsu/



活動の様子

インタビューに応じてくれた竹安美彩さん (歯学部3年) 前列右端、下舞晴太さん (文学部3年) 後列右端と仲間たち



合同説明会の様子

ボランティア情報室ができました!

今年4月に、V-pro (広島大学ボランティア推進委員会) が運営する、ボランティア情報室がオープンしました。ボランティア情報室は、ボランティアを募集したい団体とボランティアをしてみたい学生をつなぐ窓口です。開室は月曜～金曜の16:20～18:30 (月曜は～18:00)、場所は西1 福利会館 (ローション裏)、多目的ホール2です。ボランティアに興味のある人はぜひ足を運んでみてください。

連絡先 V-pro メール hirodai.vpro@gmail.com ブログ http://vpro-v-pro.blogspot.com/

取材を終えて

今回、取材したボランティア団体の皆さんの表情からは、自信や誇りが感じられました。ボランティアを通して自分自身が成長できることが、自信や誇りにつながっているようです。読者の皆さんも、ボランティア活動に参加してみてもいいかもしれません。

取材・記事・総合科学部2年 野田 麻美

現地で
体験から
国際支援を
考える!

WANNA

私たちは、今年3月に誕生したばかりの国際支援団体です! 春休みに、(財)ひろしま国際センター (HIC) と(独)国際協力機構 中国国際センター (JICA 中国) が主催するカンボジア・スタディーツアーに参加したメンバーを中心に、約10人で結成しました。国際支援をテーマに、さまざまな活動を計画しています。

サークル名のWANNAは、英語のwant toの短縮形。シニア海外協力隊のおばあさんに教えてもらった、「何かしてあげようではなく、何かしたいという気持ちが一番支援になる」という言葉から付けました。

スタディーツアーで訪れたカンボジアを支援するために何かしたい! そんな気持ちから始まったのがWANNAです。



カンボジアの小学校の子どもたち



蛇に首を巻いて物乞いをする女の子

私たちは、カンボジアを訪れる観光客が、食べきれないほどの料理を食べている一方で、観光地などで物乞いや物売りをして、生活せざるをえない子どもたちがたくさんいる現状を目にしました。首に蛇を巻いて、1ドルを要求してくる5歳くらいの女の子もいて、このまま漫然と学生生活を送っているわけにはいかないと痛感しました。

教育に関連した支援がしたいという点では一致しているのですが、現地で国際支援の難しさを学んできた分、どんな形で支援ができるのか、何が現地のためになる支援なのかなど、議論は紛糾することが多いです。でも悩んで悩んで、少しずつ前進できればと思っています。



資料を検索しながら話し合い

現在は、講師を招いて、国際支援の勉強会を企画しています。また、チャリティーイベントの企画も検討中です。ミーティングは、中央図書館ビブラで行っています。国際支援に興味がある、イベント企画に携わりたい、大学生活で何かに挑戦したい、そんな人たちを大募集中です!! 一緒に世界を広げてみませんか。

(記事/WANNA・教育学部2年 小川 未空)

連絡先 b100747@hiroshima-u.ac.jp

発見! 元気人

ガンバル広大生の
PRページ。
みんなで応援しよう!

伝統を尊び、
大いに奏でる! 広島大学邦楽部

皆さん、こんにちは。私たちは広島大学邦楽部です。皆さんは「邦楽」と聞くと何を思い浮かべますか? 多くの方は、J-POPに代表されるような音楽を思い浮かべるとと思います。私たちが演奏している「邦楽」とは、古来より日本に伝わる音楽のことです。箏や尺八、三絃(いわゆる三味線のこと)といった伝統的な楽器を使用した音楽です。

そう聞くと、「堅苦しい」「つまらない」「地味じゃないの?」といった声が聞こえてきそうですが、とてもいい! 私たちが思う以上に、邦楽にはさまざまな

曲があるのです。伝統的な古典曲から現代のポップスまで、多様なアレンジや工夫を凝らした楽曲を、私たちのサークルでは演奏しています。

毎年12月上旬に行っている広島大学邦楽部定期演奏会では、多くの方にご来場いただいています。今年は12月4日にサンスクエア広島3階のアザレアホールで行う予定です。これに向けて練習しています。

定期演奏会までの道のりは、当たり前ですが、楽なことばかりではなく、苦しい局面も多々あります。ですが、来場者から温かい言葉をかけていただくと、そのたびに、次の演奏会もがんばろう!もっと上達しよう!と前向きな気持ちで次に進むことができます。また、定期演奏会以外にも、依頼を受けて演奏活動を行うこともあります。

基本的に、通常の活動は個人での練習が主になります。東広島キャンパスサークル棟3階の和室で、普段はアットホームな雰囲気、演奏時はこころとばかりに激しく!のスタンスで、毎日元気に活動しています。興味のある方はぜひ、定期演奏会や、サークル棟3階の和室に足を運んでみてください!



前回の定期演奏会にて

箏が奏でる華やかな音世界! 三絃の生み出すカッコいいリズム! どっしりとしたリード音で構える尺八! 広島大学邦楽部が、あなたの邦楽のイメージを塗り替えます!

(記事/広島大学邦楽部・法学部3年 本川 僚彦)

連絡先 hogakuyeah@yahoo.co.jp

HP http://music.geocities.jp/hogakuyeah/top.htm

Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

剣道部の井藤さんが好成績

5月15日(日)に愛媛県武道館で行われた、第14回中四国学生剣道Challenge Cupで、剣道部の井藤裕賀さん(工学部3年)が個人優勝を果たしました。

バレーボール部女子が活躍

5月20日(金)～5月23日(月)に、香川県高松市総合体育館・高松市香川総合体育館・四国電力体育館・高松大学体育館で行われた、第55回中四国バレーボール大学男女選手権大会で、バレーボール部女子が優勝し8連覇を達成しました。また、5月29日(日)、猫田記念体育館で行われた、第66回国民体育大会広島県予選一般の部で、バレーボール部女子が実業団チームを破って優勝し、2年ぶりに国体県代表に選ばれました。

馬術部が中四国大会で団体優勝

3月18日(金)～3月20日(日)に広島工業大学沼田校舎馬場で行われた、春季中四国学生馬術大会で、馬術部が団体総合優勝を果たしました。

第62回中国五大学学生競技大会が開催されます

毎年、中国地方の国立大学5校から約2,000人の学生が参加し、夏季大会・冬季大会を合わせて20の種目で、日頃の練習成果を競い合います。夏季大会は7月2日(土)の水泳競技を皮切りに、以下の日程で開催されます。



○夏季大会スケジュール

競技種目	期 間	会 場
水 泳	7月2日(土)・7月3日(日)	島根県立水泳プール
硬 式 野 球	8月27日(土)・8月28日(日)	広島大学
体 操	9月2日(金)・9月3日(土)	岡山県総合グラウンド体育館
空 手 道	9月3日(土)	島根大学第一体育館
軟 式 野 球	9月3日(土)・9月4日(日)	松江総合運動公園野球場
ソフトテニス		岡山県総合グラウンドテニスコート
弓 道		岡山大学弓道場
バレーボール		広島大学
卓 球		広島大学
準硬式野球	9月6日(火)・9月7日(水)	岡山県総合グラウンド野球場
バドミントン	9月10日(土)・9月11日(日)	松江市総合体育館
陸 上 競 技	9月14日(水)	東広島運動公園陸上競技場

ソフトテニス部が全国大会に出場

4月30日(土)～5月4日(祝)に、島根県立浜山公園テニスコートで行われた、第33回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会、兼第55回中国学生ソフトテニス優勝大会、兼第13回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会で、男子が1部優勝を果たし、村上賢一さん(教育学部2年)と渡辺健太さん(文学部3年)のペアが個人戦男子の部で優勝、中村友里さん(教育学部2年)がシングルス女子の部で優勝しました。



男子団体は、6月6日(月)～8日(水)に東京体育館で行われた、第31回全日本大学ソフトテニス王座決定戦に出場しました。

フェニックスコンサートを開催しました

6月5日(日)、東広島キャンパスのサタケメモリアルホールで、第32回広島大学音楽祭フェニックスコンサートを開催しました。広島大学音楽協議会所属の13団体が出演し、軽音からオーケストラまで、日頃の練習成果を発表しました。各サークルによる合同演奏もあり、会場を訪れた学生、教職員、地域の方は、さまざまな音楽を楽しみました。

中央図書館で広大生協電子マネーが使えるようになりました

中央図書館では、4月18日(月)から、ILL(図書館間相互利用)料金支払いに広大生協の電子マネーが使用できるようになりました。広大生協電子マネーで支払う場合、これまで受け取りできなかった夜間・休日を含めて、開館時間内(閉館15分前まで)であれば、いつでも受け取り可能です。現金での支払いは従来どおり平日の16:45までです。

【問い合わせ先】中央図書館 文献デリバリー担当

TEL:082-424-6217

E-mail: tosho-fukyu-deli@office.hiroshima-u.ac.jp

田口ランディ氏による講演会を開催します

7月20日(水)、広島・長崎に関する小説、エッセーでも著名な作家田口ランディ氏による講演会「現代文学における広島と長崎」を開催します。新入生を対象とした平和科目の授業の一環として行います。使用言語は日本語とドイツ語(通訳付き)。見学自由。

【日 時】7月20日(水) 12:50～16:05

【場 所】東広島キャンパス 文学部B204号教室(リテラ)

【問い合わせ先】文学研究科 TEL:082-424-6604

第1回 My Best 授業紹介コンテストを開催します ―原稿募集！

学生のスキルアップと広島大学の授業を広く紹介することを目的に、今年からMy Best 授業紹介コンテストを開催します。

本学の授業でもっとも良かった・感動した授業を紹介する原稿を募集しています。応募資格者は本学の学生。優秀賞数名には賞状および商品券1万円を贈呈し、11月5日(土)ホームカミングデーで表彰を行います。詳しくは、もみじEvent & Newsをご確認ください。

【募 集 期 間】7月1日(金)～8月31日(水)

【問い合わせ先】教育室教育企画グループ TEL:082-424-6152

E-mail: kyoiku-kikaku@office.hiroshima-u.ac.jp

INU 学生交流プログラム、今年も開催！

海外のINU(国際大学ネットワーク)加盟大学の学生が広島に集まり、講義・ワークショップなどを通じて交流します。

●INU 学生セミナー 2011「地球市民と平和」～保護する責任～

【日時】8月5日(金)～10日(水)

【会場】広島市内、広島大学(東広島キャンパス)

※今回は秋葉忠利特任教授(前広島市長)による基調講演も開催。講義・模擬国連総会は見学自由です。

●INU 修士サマースクール「地球市民と平和」(大学院生向け)

【日時】8月3日(水)～8月10日(水)

【会場】広島市内、広島大学(東広島キャンパス)

【問い合わせ先】国際交流グループ TEL:082-424-4346

INUのホームページ <http://www.inunis.net/>

大学院集中講義で台湾の学生と交流しませんか？

8月、社会科学研究科では、「アジアの人権」をテーマに、大学院集中講義を実施します。講義は広大と台湾の大学教員が担当し、台湾の大学院生と席を同じくして学べるユニークなものです。基調講演には、国連規約人権委員会の元委員長など、外部の専門家も招きます。アジアの人権や台湾の学生との交流に関心ある大学院生を募集中です。履修は「もみじ」から。



【問い合わせ先】社会科学研究所学生支援グループ

TEL:082-424-7148

NHKテレビ白熱教室 JAPAN の収録が行われました

6月26日(日)、文学研究科大講義室で、白熱教室 JAPAN の公開収録が行われました。『正義論』の訳者・倫理学者の川本隆史氏を



講師に招き、「ヒロシマで正義とケアを編み直す」と題し白熱した議論を展開。当日は、多くの広大生が積極的に発言しました。7月24日(日)・31日(日)18時から、NHK Eテレで放送予定。

学生スタッフが国際センターで活躍しています！

国際センターでは、現在13人の学生スタッフが、教務補佐員やフェニックス・アシスタント(PA)として活躍しています。出身国は日本、中国、インドネシア、台湾、米国など国際色豊かです。留学生・外国人研究者の宿舎である「国際交流会館」の窓口や学生プラザなどで、留学生支援に若い力を発揮しています。



学生スタッフによる留学相談を開始します！

学生プラザ1Fの留学情報コーナーで、留学相談を受け付けています。7月からは2人の学生留学アドバイザーが、留学に関する質問・相談にアドバイスします。気軽にのぞきにきてください。



市川さん

月 13:00～16:00、金 9:00～12:00



荻野さん

火 13:00～16:00、水 12:00～15:00

国際交流に関心のある学生を募集します ―NOIE 登録者募集中！

NOIE(Network of International Exchange)は、国際交流に関心のある日本人学生、留学生に、学校や地域で行われる国際交



流活動の情報を提供するネットワークです。国籍や地域の壁を越え、交流活動を通じて新しいことに挑戦したい学生を募集しています。

募集内容は、もみじ>学生生活のサポート>国際交流>NOIEをご確認ください。

【問い合わせ先】国際交流グループ(学生プラザ3F)

ノーベル賞受賞者の下村脩先生による講演会を開催しました

5月26日(木)、東広島キャンパスのサタケメモリアルホールで、下村脩先生(2008年ノーベル化学賞)を迎えて、第45回広島大学講演会を開催しました。



講演では、少年時代の思い出、ノーベル賞受賞理由となったクラゲの緑色蛍光たんぱく質を発見した経緯やノーベル賞授賞式の様子などを分かりやすく説明し、参加者からの質問にも丁寧に答えられました。講演は、霞キャンパスなどにも中継され、合計1,200人以上が参加しました。



東日本大震災への義援金の目録を贈呈しました

広島大学では、東日本大震災の被災地域へのお見舞いのため、学生・教職員が一体となり募金活動を行いました。総額19,140,361円の義援金が寄せられ、4月8日(金)と5月16日(月)の2回に分けて、日本赤十字社広島県支部へ寄託し、5月30日(月)に目録を贈呈しました。



広島大学の節電への取り組み

東日本大震災の影響により、この夏の電力不足が懸念されています。広島大学では、全構成員(約2万人)一丸となって、省エネ対策に取り組んでいます。

ウェブサイト「節電チャレンジ」

広島大学の節電への取り組みを広島大学公式ウェブサイトで公開しています。部局別の電力使用量も確認できます。身近な節電の工夫や「節電、いいね! つぶやき」も募集しています。TwitterまたはE-mailで投稿してくれたつぶやきは、節電チャレンジのサイトで紹介します。

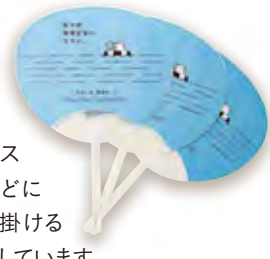
節電チャレンジ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/setsuden/>

●Twitter …つぶやきの最後に「#HU_setsuden」とハッシュタグをつけて投稿

●E-mail …件名を「節電、いいね! つぶやき」として下記アドレスに投稿 ➡ risk@office.hiroshima-u.ac.jp

扇風機・うちわで節電

この夏のエアコンの使用を控えるため、広島大学は扇風機約2,000台を一括購入し、各キャンパスの研究室や講義室、附属学校などに設置しました。また、節電を呼び掛ける「うちわ」を15,000本製作し、配布しています。



パソコンの省エネ設定にご協力ください

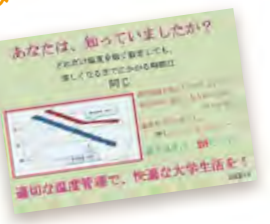
節電の一環として、パソコンの省エネ設定を推進しています。下記サイトを参考に、省エネ設定にご協力ください。

省エネ設定方法

http://home.hiroshima-u.ac.jp/jyoho/Energy_saving/PC.html

学生による節電の取り組み

文学部の学生グループBKPI6も節電を呼び掛けています。BKPI6は、「B=文学部」「K=経費削減」「P=プロジェクト」の略で、昨年12月から文学部の光熱費削減を目的に活動しています。文学部の建物内にポスターを貼って、節電の啓発活動を行っています。



校友会がフラワーフェスティバルに参加しました

5月3日(祝)から5日(祝)にかけて開催されたひろしまフラワーフェスティバルに、広島大学校友会が、初めて参加しました。平和大通りの「あさがおひろば」で、DAMAけん、遊技団、将棋部などの学生団体が、工夫を凝らした実演・教室やホームカミングデーのPRなどを行い、多くの市民や卒業生が来場しました。



ホームカミングデーの学生スタッフを募集します

11月5日(土)に行う、第5回ホームカミングデーの学生スタッフを募集します。対象は学生企画の立案・実施などに参加できる在学生で、募集期間は7月末まで。

【問い合わせ先】校友会事務局 TEL:082-424-6015

HP: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>

2011年7月～10月までの主なスケジュール

7月	7.1～8.31	My Best 授業紹介コンテスト応募受付
	7.2～3	中国五大学学生競技大会夏季大会 水泳(島根県)
	7.3	ゆかたまつり
	7.11～8.26	後期分授業料免除申請受付*
	7.13～8.10	学生による授業評価アンケートおよび教育プログラム評価アンケート回答期間
	7.19	学位記授与式(博士)
	7.25～8.5	学期末試験*
	7.29	教育著作権セミナー
	7.29～8.12	全日本歯科学学生総合体育大会(ラグビー、アメリカンフットボール、スキーを除く)
	7.30～8.13	西日本医科学学生総合体育大会(大阪府 他)
8月	8.3～10	INU修士サマースクール
	8.5	前期授業終了 学生支援教職員研修会(学生も参加可)
	8月上旬	留学生と日本人学生の交流イベント開催
	8.5～10	INU学生セミナー
	8.6～9.30	夏季休業
	8.8～8.9	オープンキャンパス*
	8.13～	教育プログラム評価アンケート集計結果公開
	8.23～9.7	第3回STARTプログラム派遣(オーストラリア)
	8.27～9.14	中国五大学学生競技大会夏季大会 水泳を除く(島根県・岡山県・広島県)
	9.22～	授業評価アンケート集計結果公開
9月	9月下旬～10月上旬	後期履修手続* 日程が決定次第(7月下旬予定)、「もみじ」でお知らせします。
	10.1	後期授業開始
10月	10月上旬	TA(ティーチング・アシスタント)研修会
	10.7～10.17	日本学生支援機構大学院奨学生(平成24年度予約採用)出願受付*
	10.8～10.9	酒まつり
	10月中旬	会話パートナー参加学生募集 NOIE(国際交流ネットワーク)登録学生募集 HUSAプログラム派遣留学生募集

注意 ※印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。



COVERな人 第26号

撮影場所は中央図書館です。外はあいにくのぐずついた天気でしたが、況さんの明るい笑顔で、華やかな印象の表紙になりました。広大で思い出をたくさんつくて、日本をもっと好きになってください!

況 壁さん

●教育学研究科 研究生

●日本が好きです。中国で学部生をしていたときも、交換留学で日本に来ていました。日本映画を観るのが好きですね。

本人コメント

中国からの研究生として入学した広島大学で、思い出に残ることをしなくて応募した表紙モデル。まさか選ばれると思っていなかったのですが、お知らせの電話をいただいた時は本当にビックリしました。日本は今、東日本大震災で大変です。私自身も08年に四川省大地震を体験しており、当時の日本からの援助にはとても感謝しました。だから今回は、私たちと一緒にがんばっていきましょうと思います。

表紙モデル募集

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど…という方は、気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

CONTENTS

特集 03	01	あの人に会いたい
	01	栗城史多
Knock on the door 08	07	学生取材班が行く
	07	教養教育の新カリキュラムが開始
体感地球 11	07	東日本大震災復興支援ボランティア報告
	09	羅針盤 OB&OG紹介
発見! 元気人 14	09	尾崎孝志
	10	森下真衣
Hi! Hirodai Information 15	13	学生取材班が行く「特別編」
	15	広大のボランティア
Wanna 14	14	WANNA
	14	広島大学邦楽部
15	15	各種お知らせ
	15	COVERな人
15	15	編集部からのお知らせ
	15	編集部からのお知らせ

編集部からのお知らせ

●HU-style (エイチユースタイル) 編集基本方針

○学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしていこうべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめさまざまな人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
○本学に関する情報の伝達と周知

●投稿募集

①掲載記事について
1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上での匿名もOKです。
②情報の提供、『HU-style』への提言
取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。
※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

●学生広報スタッフ募集!

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

●定期購読のお申し込み

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

●本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

●個人情報保護について

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

●お問い合わせ・お申し込み

広島大学広報グループ『HU-style』編集担当

(連絡先は下記参照)

編集後記
4月から編集担当になりました。しかも、編集長という肩書き付きです。慣れない仕事に奮闘中ですが、優秀な編集部員と学生広報スタッフさんのおかげで「7月号」が完成しました。(編集長は、何かしましたっけ?)
本号の特集は、いろんなことに挑戦している広大生が紹介されています。チャレンジすることがあるってうらやましいなあ。あっそうだ、私も編集の仕事がんばらなと。次号は、どんな人たちに会えるか楽しみです。先輩編集部員Kさん、よろしくお願いしますね。
(新米編集長O)

HU-style 2011年7月号 Vol.26(季刊)

編集・発行 広島大学広報グループ
住 所 〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号
電 話 082-424-6017
F a x 082-424-6040
E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp
制 作 有限会社トゥービー
印 刷 中本総合印刷株式会社

※次号は10月上旬発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)